

高橋かずちかの「**打開トーク**」vol.1

打開
かずちか

高橋かずちかが、東京都の社会的・経済的な「地盤沈下」に対処すべく、中野の現場に着目して「打開」の方向性を探る対談。地域の現場の試みからアイデアを得ていきます。

今回は、東京の教育改革の方向性について探るべく、長年教育の現場から中野、東京、日本を支えてこられた堀越学園理事長、堀越克明氏との対談を行いました。

高橋：堀越学園の教育方針、その良さについて教えてください。

堀越：堀越学園の教育は、

生徒一人ひとりを伸ばす教育を重視しています。

「太陽の如く生きよう」、画一性ではなく多様性を生かした個人の可能性を生かす教育を行っています。

高橋：堀越学園では、トレイト（芸能）コース、育英コースなどの他学校では見られない独特の教育内容がありますね。

堀越：そうです。1973年の創立50周年記念の際に、

欧米の教育の先進性に刺激を受け、

芸能コースと体育コースを設置したことがきっかけです。

現在までに、多くの卒業生が生まれ、社会で活躍しています。

高橋：中野という地域は、文化・芸術活動の盛んな土地ですが、やはり堀越学園のような特色ある学校が地域に存在したことの影響が大きいと思います。

堀越：学校と地域は相互に影響を受けるものであり、お互いが良い刺激を受けながら成長・発展していければ良いと考えています。

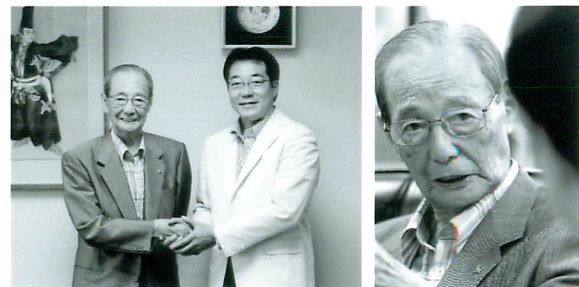
高橋：多様性を求める一方で、堀越学園は礼儀作法について厳しい教育方針を実施されてもいますね。

堀越：個人が社会に出て活躍していくためには、社会人としての義務と礼儀、徳について学ぶことが重要です。ご入学頂く際にも学校の方針に保護者の皆様に納得して頂いています。集団行動やチームプレーを学ぶことで、一人では達成できない物事を成し遂げる面白さを知ってほしい、本当の意味での仲間の大切さを感じてほしいですね。



学校法人 堀越学園
理事長 堀越克明氏

日本私立 中学高等学校 連合会 顧問
財団法人 日本私学教育研究所 顧問
全国高等学校ゴルフ連盟 会長
日本私立学校 振興・共済事業団 理事



二児の父親として汗を流してきた高橋かずちか。今回の対談を通じて、個人の可能性を生かせる教育体制、学校と地域が与える良い意味での相互作用の充実、社会人としての規範教育、保護者の教育方針への納得などの重要性が確認されました。